



## 今年度のESDの重点目標

自分の想いを表現できる子供をめざして～ESDの日常的な取組の実践を通して～

### 【令和3年度 ESD 実践報告】

#### 01 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

効果的な双方向のコミュニケーションツールとしてICTの活用やプレゼンテーションの力を伸ばす方策の研究、国語科における「自分の想いを表現できる子供」の育成を目指し、お互いの授業を参観して教職員が一丸となって授業改善に取り組んでいます。

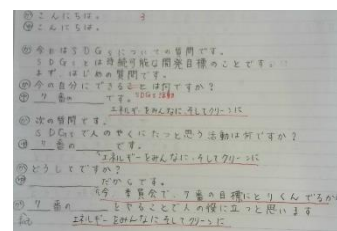


#### 02 委員会活動を通して全校へ広める

各委員会でSDGsに関係する活動を改めて考え、実際に活動しています。

一例をあげると、

- ・栽培委員会…雑草取り，水やり，花を花壇に植えるなど。
- ・図書委員会…本の修理，SDGsの本の紹介など。
- ・放送委員会…昼の放送で，SDGsについての質問やクイズ，紹介など。
- ・運営委員会…各委員会の取組を全校に知らせる。
- ・給食委員会…食品ロスを減らすように全校に声をかけたり，ポスターで知らせたりする。



#### 03 学年に応じたSDGsを意識した授業への取組

各学年，各教科に応じてSDGsに関連づけた授業をしています。

一例をあげると、

- ・4年生…国語科「ウミガメの命をつなぐ」では，ウミガメ保護の取組を知ることから始まり，絶滅危惧種の生物の命を守るために自分たちにできることは何かを考える。
- ・ひまわり学級…生活単元学習 学校に生えているヨモギを摘み，調理してヨモギ団子を作り食べ，ヨモギの汁を使って染物をする。

